

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

**製品名：コタロー麻杏ヨク甘湯エキス細粒**

主成分：麻杏ヨク甘湯(Makyoyokukanto)

剤形：淡褐色～褐色の細粒剤

シート記載など：N78 コタロー麻杏ヨク甘湯（マキョウヨクカントウ）

2.0g

**この薬の作用と効果について**

- ・通常、関節・筋肉リウマチ、神経痛、イボなどの治療に用いる漢方薬です。

**次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。**

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。狭心症・心筋梗塞などの心臓に障害がある、またはその既往がある。甲状腺機能亢進症がある、高血圧症がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

**用法・用量（この薬の使い方）**

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）

- ・通常、成人は1日6g（水製乾燥エキスとして4.0g）を1日2～3回に分けて、食前または食間に服用しますが、年齢・体重・症状により適宜増減されます。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・飲み忘れた場合は、気がついたとき、できるだけ早く1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回飛ばして、次の通常の飲む時間に1回分を飲んでください。2回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、飲むのを止めないでください。

**生活上の注意****この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）**

主な副作用として、不眠、発汗過多、頻脈、動悸、興奮する、食欲不振、胃部不快感、吐き気、嘔吐、下痢、排尿障害などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[ ]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・尿量が減少する、顔や手足がむくむ、まぶたが重くなる、手がこわばる[偽アルドステロン症]
- ・体がだるくて手足に力が入らない、手足がひきつる、手足がしびれる[ミオパチー]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

**保管方法その他**

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄方法がわからない場合は受け取った薬局や医療機関に相談してください。他の人に渡さないでください。

**医療担当者記入欄**

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。